



# 第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館 パヴィリオン賞(金獅子賞)受賞

「ここに、建築は、可能か」

コミッショナー 伊東 豊雄

参加作家：建築家／乾 久美子、藤本 壮介、平田 晃久、写真家／畠山 直哉



日本館にて撮影

左より

乾 久美子 (建築家)

伊東 豊雄 (日本館コミッショナー／建築家)

平田 晃久 (建築家)

藤本 壮介 (建築家)

畠山 直哉 (写真家)

写真：畠山直哉

**第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展において、日本館(伊東豊雄コミッショナー、国際交流基金主催)は、パヴィリオン賞(金獅子賞)を受賞いたしました。**

今年の日本館の展示は、「ここに、建築は、可能か」と題し、コミッショナー伊東 豊雄氏及び、参加作家の乾 久美子、藤本 壮介、平田 晃久、畠山 直哉氏と共に東日本大震災で被害を受けた陸前高田に被災者等が集まれる集会場「みんなの家」の建設を巡るドキュメントを提示し、震災後の建築の可能性を問う内容となっています。

2012年8月29日11時(現地時間)にビエンナーレ開幕と共に本年度の各賞が発表され、日本館の展示「ここに、建築は、可能か」は、国別参加部門における金獅子賞を受賞いたしました。

日本館のパヴィリオン賞(金獅子賞)受賞は、1996年の第6回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展(磯崎新コミッショナーによる「亀裂」)以来、2回目の快挙となります。

貴社媒体でのご紹介のご検討をどうぞよろしくお願いいたします。

## コミッショナー 伊東 豊雄氏 コメント

大変光栄です。今回のテーマは「カタストロフィー」という大変特異なテーマだったので、どこまで世界の皆様に理解していただけるか心配しておりましたが、それを今回理解していただく事ができ、受賞できた事をうれしく思います。

また、被災地という特殊な状況での小さなプロジェクトだったのですが、小さいプロジェクトの中で、「建築とは何か?」、「みんなが集まるとはどういう事か?」、建築のもっともプリミティブな意味を問い直すという事が理解いただけてそれもまた大変うれしく思います。

## ヴェネチア・ビエンナーレ概要

主催：ヴェネチア・ビエンナーレ財団 (<http://labiennale.org/en/index.html>)  
会期：2012年8月29日-11月25日 10:00-18:00、月曜休（ただし、9月3日、11月19日は開場）  
会場：国別参加展：ジャルディーニ（Giardini di Castello）地区ほか  
企画展：アルセナーレ（Arsenale）地区ほか  
総合ディレクター：David Chipperfield（デイヴィット・チップパーフィールド）  
総合テーマ：Common Ground  
公式HP：<http://www.labiennale.org/it/Home.html>

## 日本館展示の概要

主催：国際交流基金 (<http://www.jpff.go.jp/j/index.html>)  
特別助成：公益財団法人石橋財団  
協力：佐藤淳構造設計事務所、大光電機株式会社、株式会社イーストウエスト、株式会社DNP フォトルシオ  
会場：ジャルディーニ地区内にある日本パヴィリオン。吉阪隆正による設計で、1956年に竣工。  
（所在地：Padiglione Giapponese Giardini della Biennale, Castello 1260, 30122 Venezia）  
コミッショナー：伊東 豊雄（いとう とよお）  
参加作家：建築家／乾 久美子（いぬい くみこ）、藤本 壮介（ふじもと そうすけ）、平田 晃久（ひらた あきひさ）  
写真家／畠山 直哉（はたけやま なおや）

※画像についてお問合せは下記広報担当までお願いいたします。



日本館入り口  
写真：畠山直哉



日本館の様子  
写真：畠山直哉

画像及び取材の問合せ  
国際交流基金 担当：平  
Tel: 090-1149-1111  
venezia@jpf.go.jp

展示に関するお問合せ  
国際交流基金 森多恵/金子美環  
文化事業部欧州・中東・アフリカチーム  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1  
Tel: 03-5369-6063 Fax: 03-5369-6038  
[www.jpff.go.jp](http://www.jpff.go.jp)